

くじらと
おとこ
めのみえない男

ぶん タナカ ミキ
えん まろこ
え 摩呂子

sample





くじらと
めのみえない男^{おとこ}

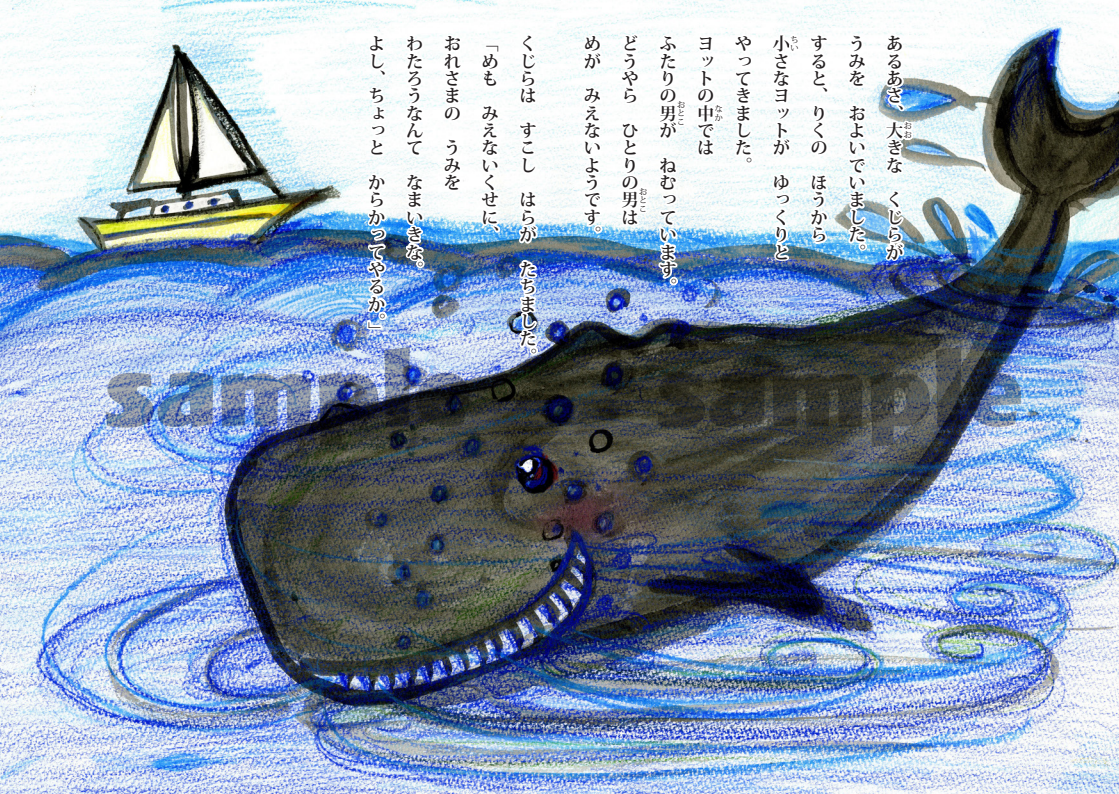
文 タナカ ミキ
絵 まろこ 子



sample

sample





あるあざ、おお大きな くじらが
うみを およいでいました。
すると、りくの ほうから
こ小さなヨットが ゆっくりと
やってきました。

ヨットの中では

ふたりの男が なねむっています。

どうやら ひとひとりの男は

めが みみえないようです。

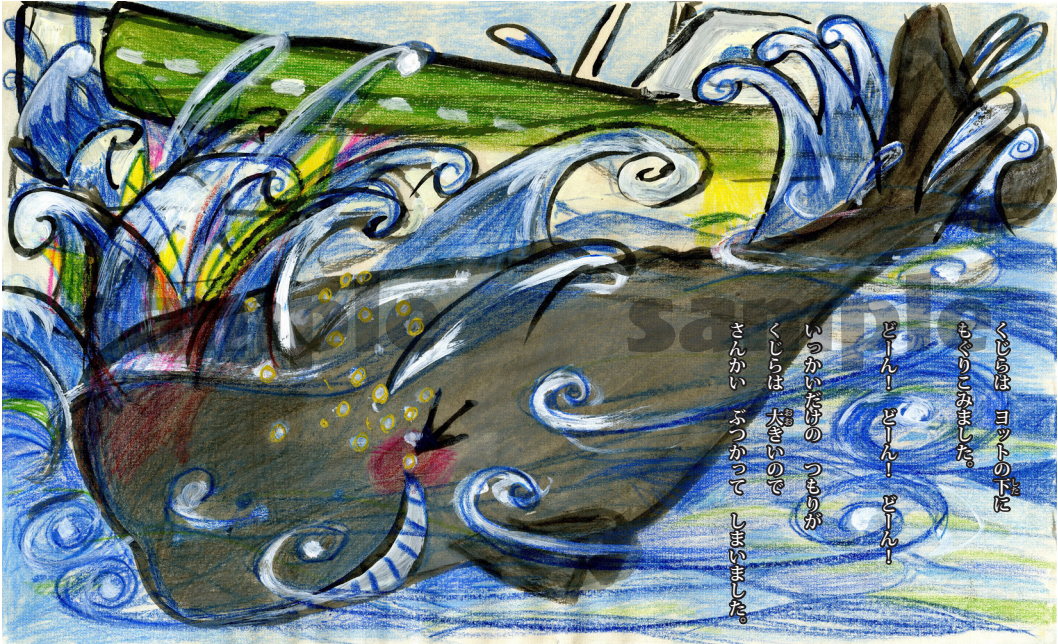
くじらは すすこし ははらが たたちました。

「めも みみえないくせに、

おれさまの うみを

わたろうなんて ななまいきな。

よし、ちょっと かからかってやるか。」



くでのは エットの下の

もくりにまました。

どーん！ どーん！ どーん！

いつからだかの つもりが

くちは 大きいのぞ

まにかい むつかって しまりました。

「ちょっと、やりすぎたかな。」

ふねの そこには あながあいてしまい、
どんどん水が 入ってきました。

男たちが いのちからがら きゅうめいボートに のりこむと、
ヨットは うみに しずんで しまいました。

